

- * 「もし、私たちがこの世にあってキリストに単なる希望を置いてい
るだけなら、私たちは、すべての人の中で一番哀れな者です。」（I
コリント15:19）キリストは私たちがこの世で生きるために必
要なお手本であり、苦しみや悲しみを乗り越えるために頼りになる
方である。よみがえって生きておられるキリストが共におられるこ
とは何にも代えがたい喜びであり、安心である。しかし、それだけ
ではない、という。
- * 「しかし、今やキリストは、眠った者の初穂として死者の中からよ
みがえられました。というのは、死かひとりの人を通して来たよう
に、死者の復活もひとりの人を通して来たからです。」（15:20）
「初穂」はイスラエルの律法で神様に感謝をもってささげられた最
初の収穫のことである。これにより後のすべての収穫全体が神様に
祝福された。キリストが最初に復活し、キリストの再臨の時、死ん
だ者も復活し、私たちがもし生きていれば復活の体に変えられるこ
とが約束されている。
- * 「すなわち、アダムにあってすべての人が死んでいるように、キリ
ストによってすべての人が生かされるからです。（15:20～2
2）アダムとエバが神様の命令を守らなかったことから罪が私たち
一人ひとりの中に入り、消えなくなりました。その結果、肉体
の死のみならず、魂の死、すなわち神様との交わりが絶えてしまっ
たのである。しかし、神様は、イエス・キリストを送ってくださり、
十字架の死によって私たちが地上でおかす罪を赦してくださり、い
ずれからだが復活して主イエスと共に永遠に生きる希望を与えてく
ださったのである。
- * エリザ・ヒューイットというアメリカの女性は、心無い少年の暴力
で脊髄を損傷し、悲しみとつぶやきの長い病床生活を送ることにな
る。しかし、毎日掃除に来る黒人のおばさんが、イエス様が恐れや
嘆きを賛美に変えてくださる、といつも感謝にあふれて賛美し、笑
顔を絶やすことがないのに感動し、それから多くの賛美の歌を書く
ようになった。「歌いつつ歩まん」（新聖歌325）が生まれ、また、「や
がて天にて」（同468番）で天国の希望を歌った。「わたしはよみが
えりです。
いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。」（ヨハネ
11:25）